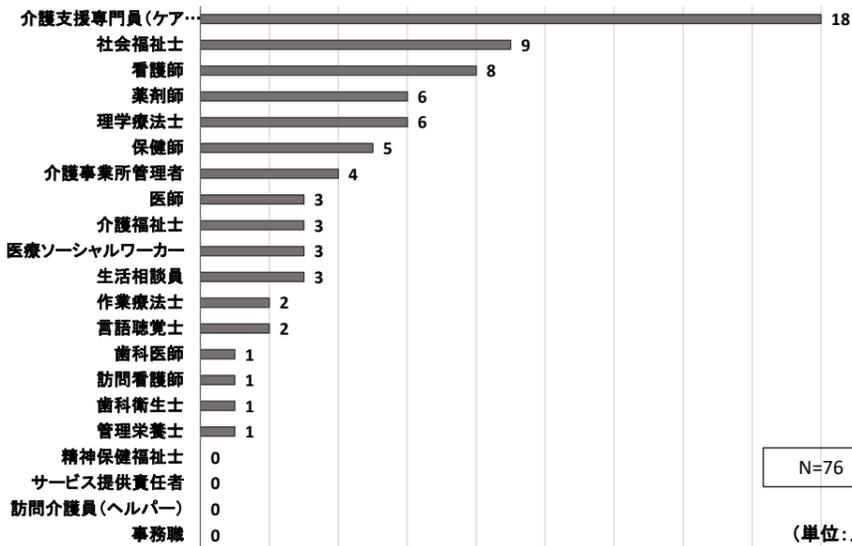
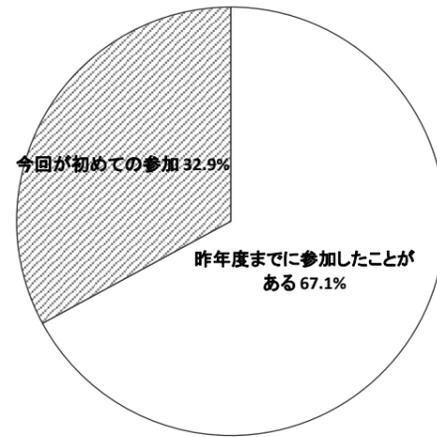


R4 顔の見える関係づくり交流会 アンケート結果

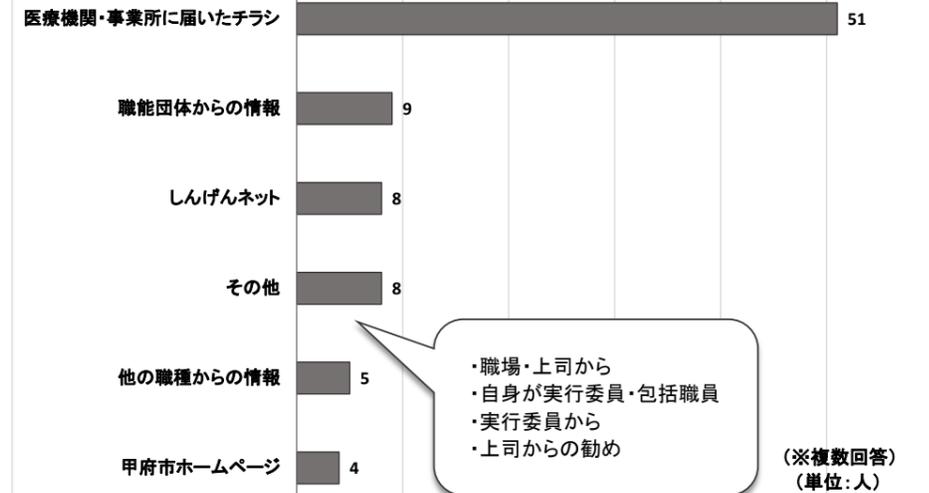
1. 職種



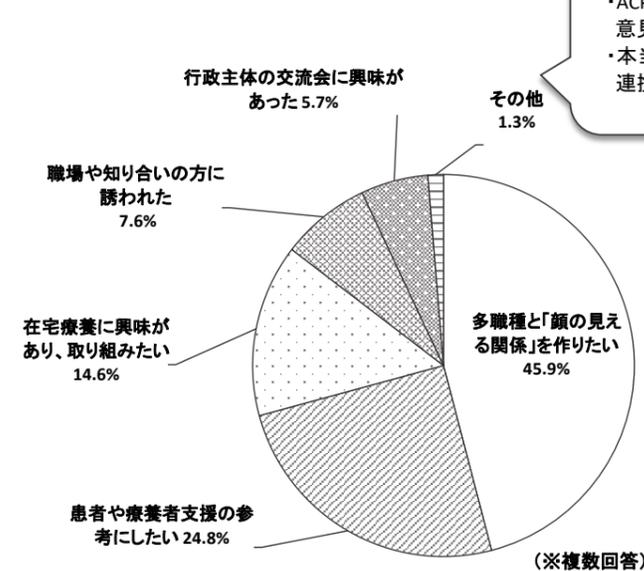
2. 交流会の参加について



3. 交流会についてどのように知りましたか

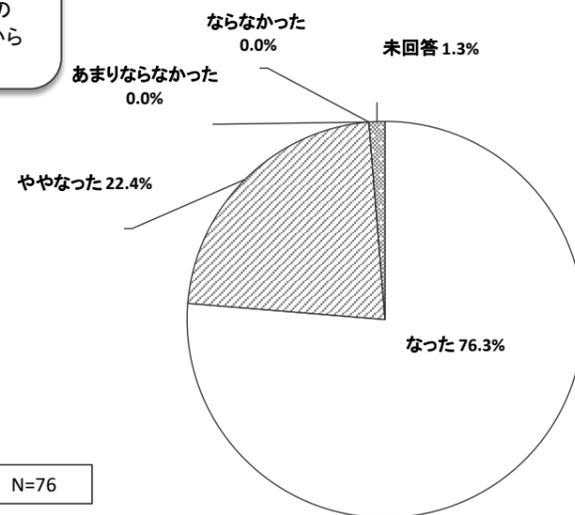


4. 交流会の参加動機について

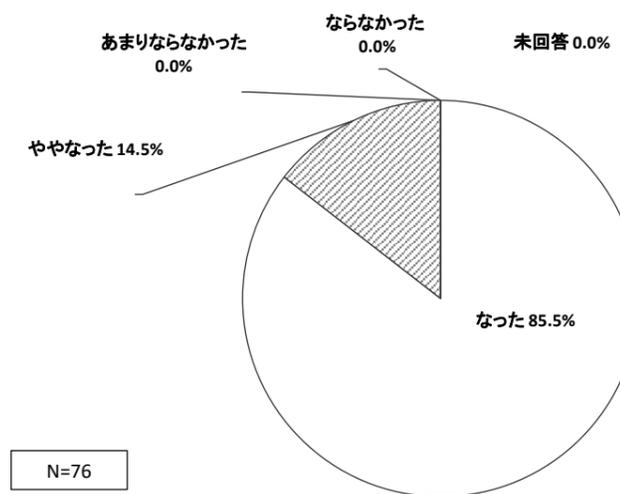


・ACPIについて、多職種と意見交換としたい
・本当に医療と介護の連携が必要と思うから

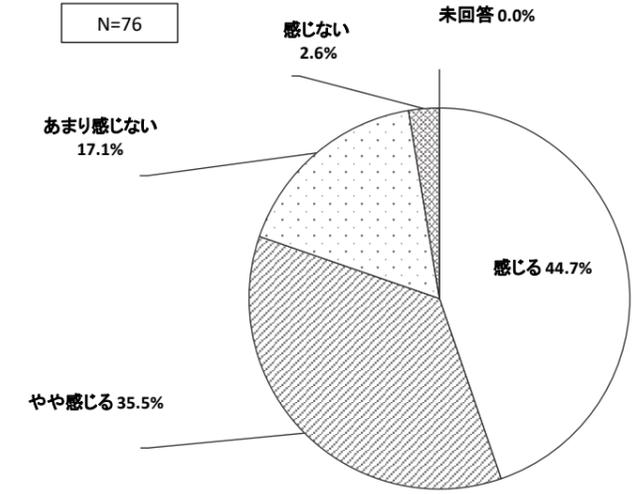
5. 多職種と「顔の見える関係」を作るきっかけになりましたか



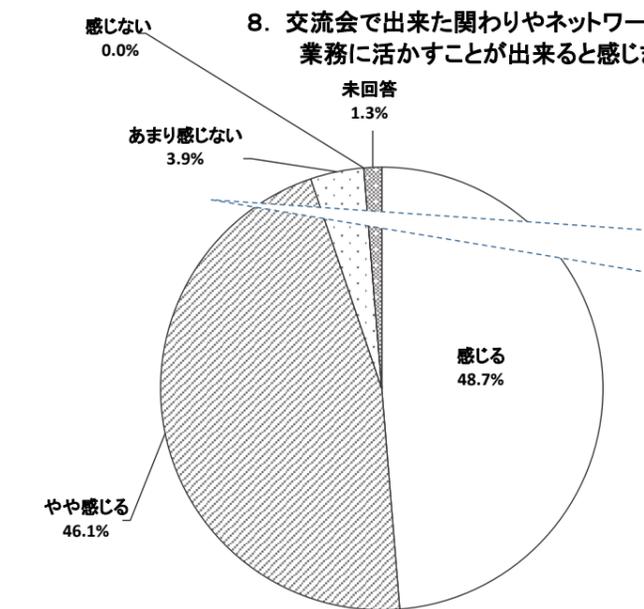
6. 多職種での連携に向け、互いの業務の現状や役割について理解する機会となりましたか



7. 本日の交流会が、今後の連携のとりやすさにつながったと感じますか



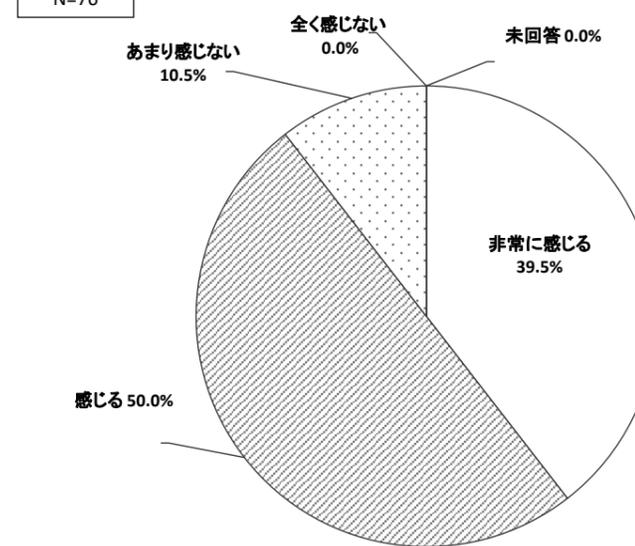
8. 交流会で出来た関わりやネットワークを、今後の業務に活かすことが出来ると感じましたか



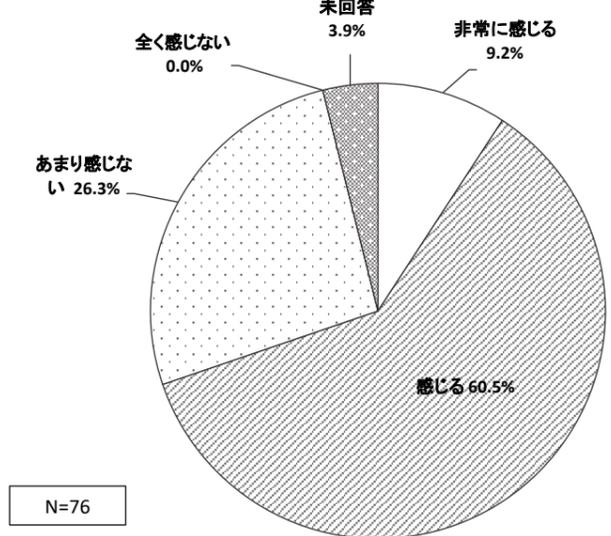
《質問8で、「あまり感じない」と回答した理由》

- ・今後関わらる事がなさそうだから
- ・普段の仕事上で気軽に連携しやすい環境にない
- ・ネットワークを構築するほど深い関係になる会ではなかった。考え方の参考にはなった。

9. 医療と介護の連携が、仕事の働きがいに繋がっていると感じますか



10. 医療と介護の連携が、進んでいると感じますか



R4 顔の見える関係づくり交流会 アンケート結果

11. 今後の交流会に期待すること、希望する話題や交流手法についての意見(抜粋)

■希望する話題についての意見（47）

- ・医療から在宅につなげるにあたっての情報提供方法、ツールについて
- ・看取りについて
- ・病院同士の連携や看護師同士の連携等
- ・病院以外での看取り
- ・権威勾配
- ・介護保険のことを患者さんから、聞かれることが増加して強いる。
- ・在宅困難ケース
- ・それぞれの困りごとをざっくりばらんに共有する話題にすると、多職種が何が困っているのか見えやすかったです。
- ・臨床倫理4分割法
- ・SDGs
- ・認知症の方を地域で支える
- ・Zoom研修
- ・入退院場面を例に、互いの業務に関する速度感、一人に対して対応できる時間軸を理解しあえる研修があると良いなと感じます。
- ・BCPIについてどのように取り組むべきか考えていきたい。
- ・今回のような医療、介護双方が興味深い話題が良い。
- ・医療、介護の診療報酬について それに伴うそれぞれの取り組み等
- ・グループワークを通し、「退院支援」についても話をしてみたい。
- ・気になる例になるのですが、本人は外出したくないし、誰も家に来てほしくないが、ケアマネージャーや家族は、その必要性を感じているという場面があり、どのように対応すべきか悩むことがあります。そのヒントになるようなお話が聞ければと思います。
- ・医療職(特に病院、診療所)スタッフに対し介護(地域)側の事例提供し、検討してもらいたい
- ・連携事例を知りたい。成功例だけでなく課題が見つかった事例なども。
- ・介護支援の現場で直面する経済的な問題とその解決方法について教えてほしいです。
- ・軽い認知症の独居の方で、家族の協力があまり得られない場合、いつか怪我したり迷子になったり事件が起きる前に何か対策を考えられないかみなさんに伺ってみたいです。
- ・ACP第2弾も良いのでは。効果的な地域連携の在り方など。
- ・リハビリ後の運動方法についての技術提供等。

外24件

■交流手法についての意見（24）

〈オンライン交流に関するもの〉(13)

- ・ZOOMでの開催は気軽に参加できる。
- ・様々な勤務形態の中でzoomは効果的だと思う。
- ・zoomでの参加は、取り組みやすい職場や自宅からも参加しやすくて良い。
- ・zoomのブレイクアウトに分かれて交流できたのは話す時間が多くてよかった。
- ・コロナ禍で集合研修が難しい中、今回のような研修会はとても有効だと思います。

外8件

〈対面交流に関するもの〉(10)

- ・対面での開催も時期を見ながら行えると良い。
- ・コロナで難しいとは思いますが普段の困りごとなど雑談のように気軽に話し合えるようなカフェ的な交流の場があればいいと思う。
- ・対面で行いたい。zoomでは一人で話してる気分になり、あいでのをいれずらい。
- ・今回のような幅広い職種の方々と対面でも交流会をして意見交換をしてみたいです。
- ・対面での交流会が良いですが同じ思いを共有する場はリモートでも伝わりました。

外5件

〈その他〉

- ・zoomや対面での交流。

■交流会に期待・希望すること（6）

- ・顔の見える交流会を、甲府市以外の自治体にも広げていけると良いと思います。
- ・医師からの意見をたくさん聞きたい。(2)
- ・介護保険系だけでなく、障がい福祉系との交流があっても良いかと思えます。
- ・甲府市の在宅医(あまり講演をされていないような先生)のお話を聞きたいです。ここ数年で在宅医療に参画された先生など。
- ・看取りを通しての実際や地域ケアシステムにつながる提言等シンポジウムを行いその後にてグループワークがいいと思います。

■その他意見（7）

- ・具体的に取り組める内容で少人数や地域での連携がとれるような体制づくりをしてもらいたい。
- ・誰でも皆理解できるような仕組み。マニュアルがあればと思います。
- ・日常の仕事に活かせられる具体的な連携作りが欲しい。

外4件

12. 交流会へ参加しての意見・感想等(抜粋)

■交流会の運営について（20）

- [良かった点](11)
- ・時間が多くあったので、色々と話ができました。
- ・グループが同じエリアであった方がいたので、支援しやすいと感じた。
- ・始めに一番したいことを発表することで空気が和んだ。話のきっかけとして良かったです。
- ・進行の流れがよく、非常に参加した後の充実感があります。
- ・ZOOMでも、リアルで話し合いができていました。今後も参加させていただきたいです。

外6件

[課題点](5)

- ・交流会時間はやや長め。20時30分には終わっていただけるとありがたい。
- ・どうしてもグループ内だと人数に限られるので、もっと色々な人と話すとよいと思いました。
- ・もう少しグループワークの時間を長めに確保してほしい。

外2件

[その他](4)

- ・Zoomを使用するまでの障壁を感じました。使用できるようになるまでが難しい。

外3件

■交流会の内容について（44）

[良かった点](42)

- ・時間配分、内容ともとても満足しています。ありがとうございました。
- ・進行の流れがよく、非常に参加した後の充実感があります。職種や場面によりACPIに関する内容も学ぶことが多かったです。事例もよかったです。救命救急での現場の話しを伺うと、その手前の医療・介護でできることを実践しなければと思いました。
- ・ACPIについて深く考えるきっかけになった。高齢の方の状況を見て治療の選択を狭めていることがないか考えていきたい。
- ・日々のかかわりの中でACPを確認していきたい。
- ・貴重な機会を頂きありがとうございました。それぞれの職種で抱えるジレンマも知ることができ学びが多かったです。
- ・ACPIは意思決定支援の尊いプロセスであることを深く学ぶことができた。意思決定支援を行っていく業務の中で意識していきたい。
- ・多職種と話ができて、なんとか患者、利用者さんやその家族を支えてあげたい思いは同じだと思った。
- ・資料の最後の所、「全員参加型の共同意思決定支援」をぜひ広めていければと思います。今日はありがとうございました。

外34件

[課題点]

- ・リモートなので意見をまとめやすいようにディスカッションの内容を具体的にしておきたい。
- ・医療側の参加者がもっと多くなればと毎回感じます。

■交流会の参加職種について（5）

- ・たくさん職種の人の顔を知ることができてよかった。
- ・普段なかなか関わることができない他職種の方の話を伺うことができてよかったです。
- ・医師の参加がありとても意味があった。介護職だけでは取り組めない意味ある勉強会になった。参加した意味があった。
- ・様々な職種の方が参加され日頃あまり話す機会がない方達と話せた交流会はとても良かったです。
- ・色々な職種の方々の視点でお話が聞けて勉強になりました。

■医療介護連携の現状について（3）

- ・医療と介護の壁はまだまだあると日々感じています。お互いの業務の中でもっと連携がとりやすくなるといいと思っています。
- ・病院の実情が知れて良かった。
- ・多職種間での連携体制について、まだお互いを活用できていないところがあると思う。

■医療介護連携の今後について（2）

- ・当院での取り組みは、数年かけてやっと形になってきたように思う。まだまだ患者さんや利用者さんの思いに添えていないことが多いので、それぞれの思いをくみ取った看護、介護、ケアを行ってきたい。
- ・お互いの業務の中でもっと連携がとりやすくなるといいと思っています。

■行政(市)への要望（6）

- ・交流会以降の具体的な連携の仕組み作りが必要と思う。
- ・地域の医院との関係づくりや意見交換をする機会を作ってほしい。
- ・日常の仕事の中で職種ごとの連携に向けた「相談窓口」が決められていると良いと思う
- ・市が中心となって、住民がいざというときに考えるのではなく、元気な時から少しずつACPのことを考えられるようなツールを周知するなど(想いのマップの再活用等)は、とても大切なことなのではないかと思いました。
- ・可能であれば回数を増やすか時間を増やして欲しい。実りある交流会だと感じます。
- ・この会議が地域ケアシステムとしての機能を果たして政策提言の場所になればと思います。

■その他（9）

- ・施設によってはZoomを使用する面でのハード面での障壁もあるのかなと思いました。その障壁が取り除ければ(みんなが電話を使うようにZoomを使えるようになれば)今回障壁のせいで参加できなかった事業所も参加し、もう少しいろいろな意見が聞けたのかなと思いました。
- ・事務局、実行委員、関係者の皆さんへ感謝、ねぎらいの言葉

(8)